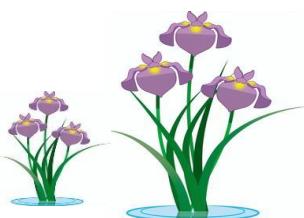




令和7年5月1日  
世田谷区立砧小学校  
ことばの教室  
校長 神田 光子  
Tel 03-3417-4822

きれいに咲いていた桜もあっという間に新緑の木々となりました。晴れ渡った空に緑が映えてすがすがしい季節となりました。さわやかな日が多くなり、子どもたちが校庭を元気に走り回ったり、虫探しに夢中になったりしている姿を見て、ほほえましく思います。

- |        |                            |
|--------|----------------------------|
| 3日(土)  | 憲法記念日                      |
| 4日(日)  | みどりの日                      |
| 5日(月)  | こどもの日                      |
| 6日(火)  | 振替休日                       |
| 7日(水)  | 1年生通級指導開始                  |
| 12日(月) | 区難言担任連絡会(午前の指導はありません)      |
| 13日(火) | 都難言協ブロック研究会(午後の指導はありません)   |
| 14日(水) | 世特支協総会(午後の指導ができない場合があります)  |
| 20日(火) | 都難言協専門研究会(午後の指導はありません)     |
| 22日(木) | 学識経験者による指導と相談(午後の指導はありません) |
| 31日(土) | 砧小土曜授業(振替指導ができます)          |



## 今月の行事予定



2日(月) 砧小学校振替休業日(この日の指導はありません)

3日(火)~13日(金) 在籍校訪問、保護者個人面談週間

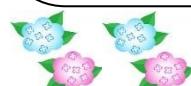
※この期間の通級指導はありません

3日(火) 都難言協ブロック研究会

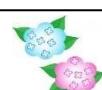
10日(火) 都難言協専門研究会(午後の指導はありません)

24日(火) 都難言協通級指導学級研究会(午後の指導はありません)

30日(月) 区難言担任連絡会(午前の指導はありません)



## 担任の先生・保護者の皆様へ お願い



在籍校訪問での授業参観

※今年度は教室の事情で期間を2週間に設定しています。

在籍校での授業参観や担任の先生と面談をさせていただきます。在籍学級での様子を知ることで、お子様一人一人に対する理解を深めたいと思います。また今年度の指導計画についても相談させていただきたいと思います。ご多用の時期とは思いますがよろしくお願ひいたします。詳しい日時につきましては、指導担当者よりご連絡させていただきます。

**保護者面談(今回は、今年度から新しい担当になりましたお子さんについて実施いたします。)**

保護者の方との面談をさせていただきたいと思います。今年度の指導目標やお子さんの家庭での様子についてお話したいと思います。詳しくは別途お知らせいたします。

# ことばの教室ってどうやって通うの？

ことばの教室は、言葉やコミュニケーションに苦手さがあり、通級による指導で改善が見込まれるお子さんが通っています。通級区域は桜小、桜丘小、用賀小、山野小、祖師谷小、千歳小、明正小、砧南小、喜多見小、砧小です。普段は在籍している学級で学習し、決まった時間だけ通級して、言葉の指導を受けます。現在の指導は1回（90分）を原則としていますが、言葉の状態に応じて変わります。通級の時間は在籍学級も出席となります。遅刻や早退の扱いにはなりません。

## 言葉についての心配があつたら

お子さんの言葉についての教育相談を、年間通じて行っています。砧小ことばの教室に保護者の方が直接お申し込みください。教育相談の結果、通級による学習が効果的と考えられ、保護者の方も通級を希望された場合に、入級の手続きを始めます。

教育相談は、お子さんの言葉についての心配がある時に相談していただく機会です。相談を受けたら必ずことばの教室へ通級しなくてはならないということではありません。通級はあくまでも、本人や保護者の方の希望によります。言葉についての心配がありましたら、お気軽にご相談ください。

ことばの教室 直通電話 03-3417-4822

## 在籍学級でのサポートをお願いします～吃音の場合～

### ○吃音症(どもり)について

吃音は、しゃべる言葉に連発（ぼ、ぼ、ぼ、ぼくは…）、伸発（ぼーーーくは…）、難発（……ぼくは）などが起きて、滑らかに発話できないことを指し、100人に1人は吃音があります。

吃音は、言語発達の盛んな2～4歳頃に発症するもので、原因はまだ特定されていません。吃音の治療法はまだ確立されていませんが、吃音によるいじめなどがないければ、年齢を重ねるにつれ、自然と軽減していきます。学級全員への吃音の説明（まずは本人と相談し希望があるか確認することが大切です）や吃音の真似をしている子どもがいたらやめさせることが必要となります。

### ○担任の先生へのお願い

- ・吃音のからかいや真似をさせない（少しの真似でも傷つきます）。
- ・話すのに時間がかかることがあります。
- ・本人と相談し、時間がかかるても待った方がよいか、「～ということかな。」と支援する方がよいのか確認してください。
- ・話し方のアドバイスはしないでください。  
「ゆっくり」「深呼吸して」「落ち着いて」などは効果がなく、逆にプレッシャーになります。
- ・音読や日直の号令などの対応を本人と確認するとよいです。  
音読は2人以上で読むと吃音は消失することが多くあります（歌も消失することが多くあります）。号令やあいさつも同様です。

出典：菊池良和 著

「きれいなエビデンスに基づいた吃音支援入門」学苑社

※一般的な対応を掲載しましたが、子ども一人一人によって安心できる対応方法が異なります。対応されるにあたり、ご心配な場合はいつでもことばの教室へご相談ください。

## たんご せっく しょうぶ せっく 端午の節句は「菖蒲の節句」

端午の節句は菖蒲を使って行事をするため、別名「菖蒲の節句」と言います。菖蒲の豊かな香りや薬草としての働きが災いや病気をもたらす邪気を払いと考えられていましたからです。

菖蒲湯 強い香りで邪気を払い、薬草効果で健康になるので、無病息災で過ごせます。

出典：三浦康子 著

「子どもに伝えたい 和の行事を楽しむ絵本」永岡書店

